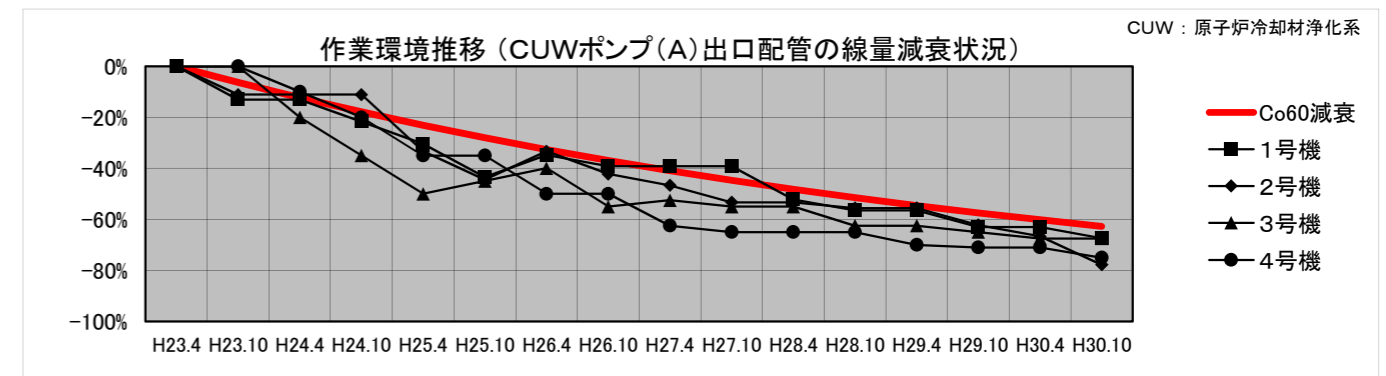
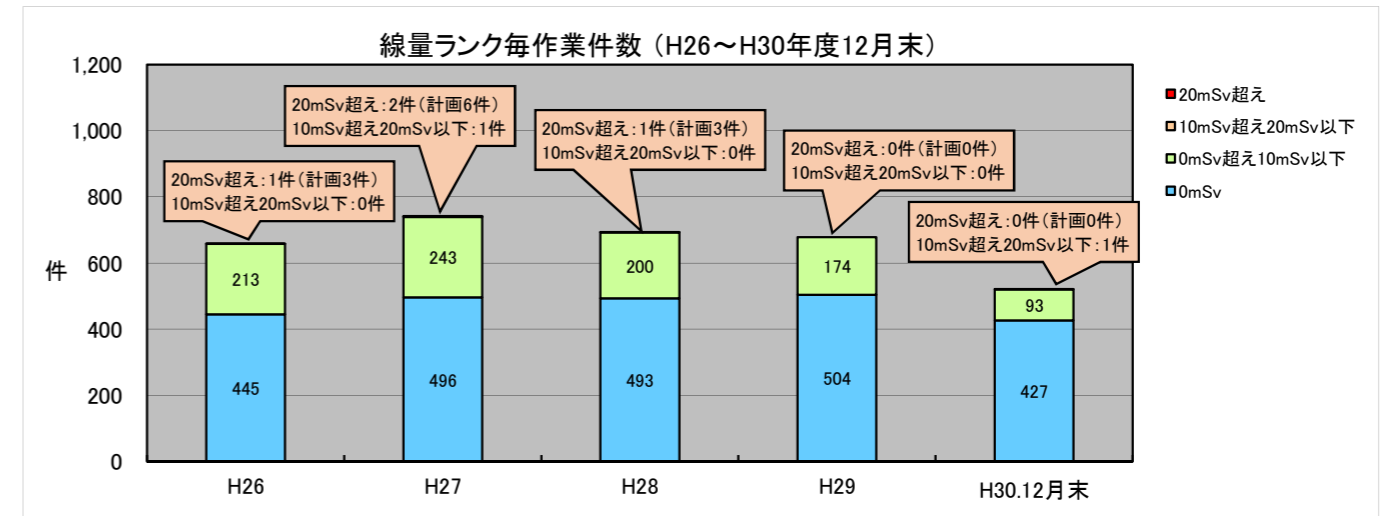
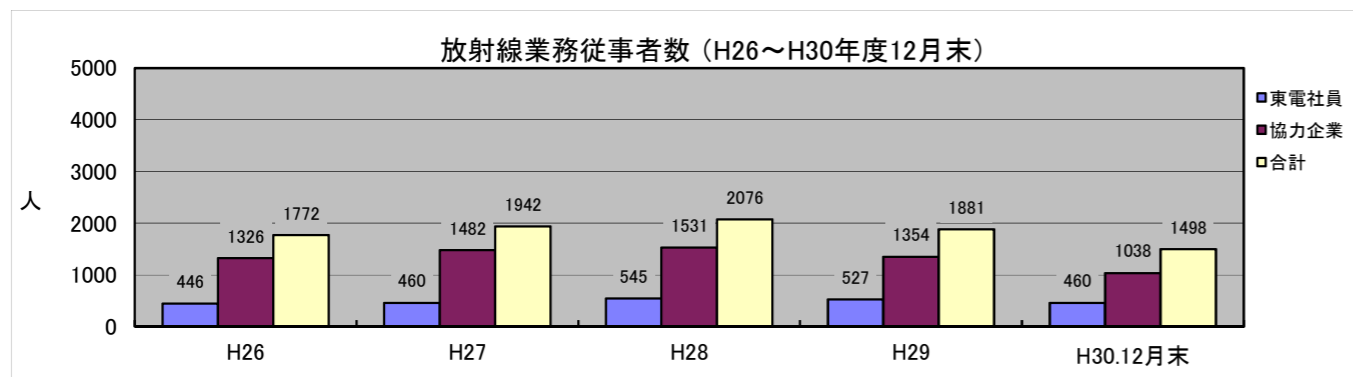
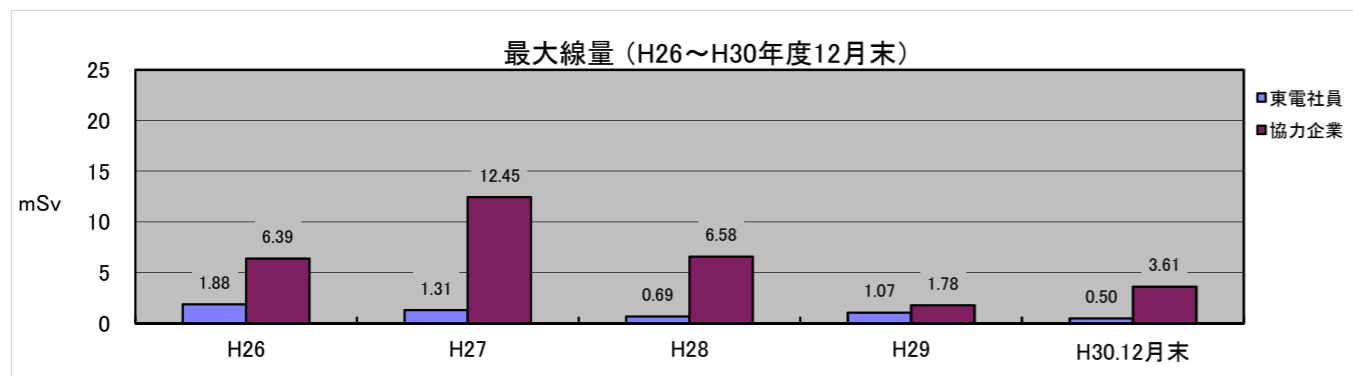
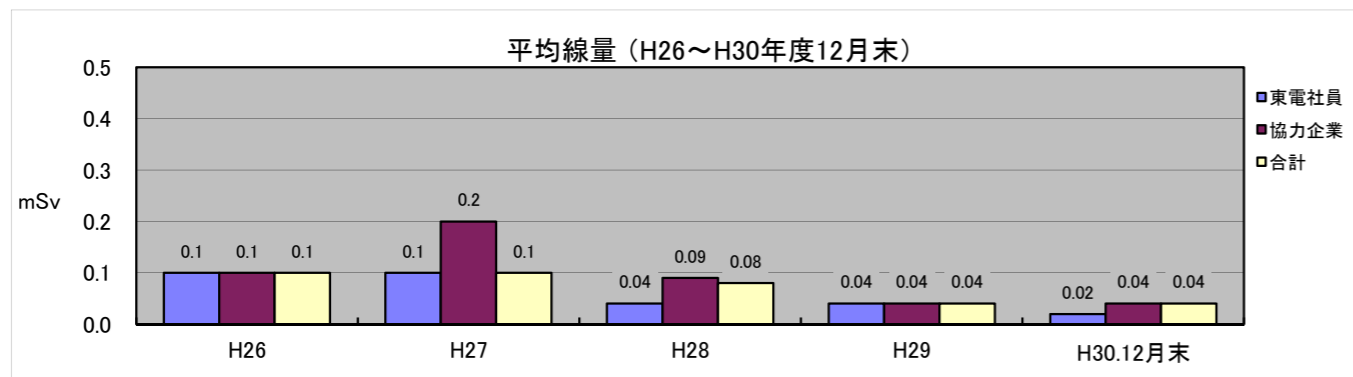
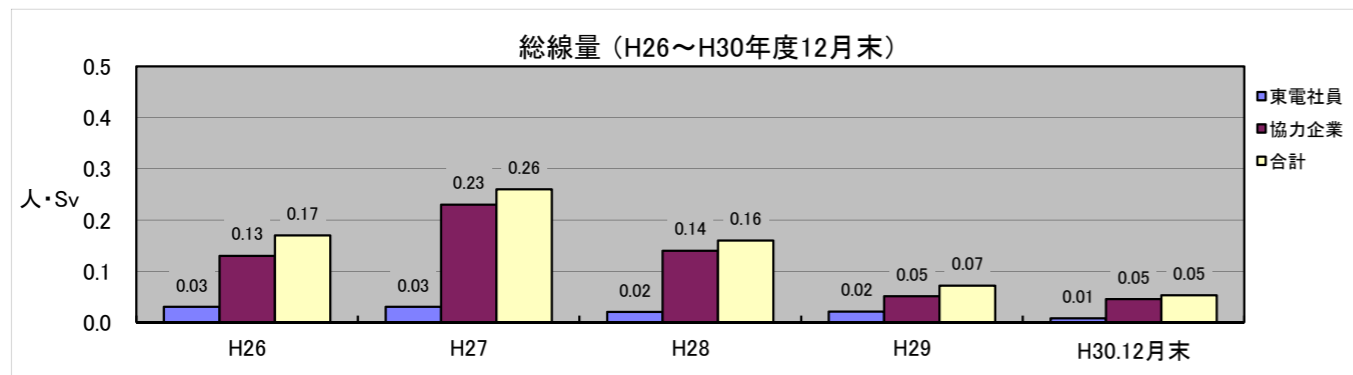
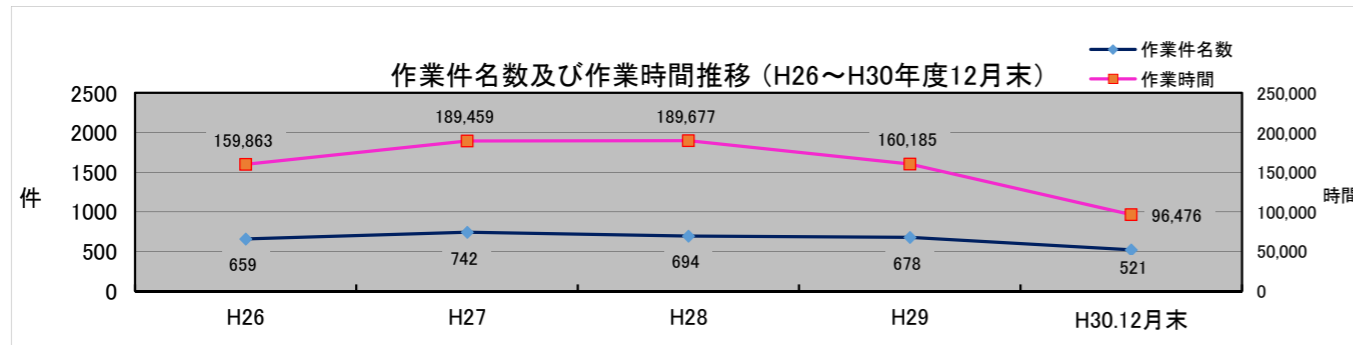


福島第二原子力発電所 放射線業務従事者数および線量状況について

2019年2月7日
東京電力ホールディングス(株)
福島第二原子力発電所



【平成30年度12月末実績について】

◆前年度との比較

比較項目	平成29年度12月末	平成30年度12月末	比較(H30-H29)
作業件数	583 件	521 件	▲ 62 件
作業時間	119,418 時間	96,476 時間	▲ 22,942 時間
総線量	0.05 人・Sv	0.05 人・Sv	0.00 人・Sv
平均線量	0.03 mSv	0.04 mSv	0.01 mSv
最大線量	東電社員 0.40 mSv 協力企業 1.16 mSv	東電社員 0.50 mSv 協力企業 3.61 mSv	東電社員 0.10 mSv 協力企業 2.45 mSv
放射線業務従事者数	1729 人	1498 人	▲ 231 人
総線量が10人・mSvを超える作業件数	0 件	1 件	1 件

◆考察

- 平成30年度12月末実績は、前年度と比較して、協力企業の個人最大線量を除き、ほぼ同程度の線量となっている。協力企業の個人最大線量の増加については、平成30年度に実施している1～4号機の原子炉冷却系統弁点検手入工事の作業線量が大きいため、前年度より大幅に増加している。この作業については、可能な限り個人線量を低減するための線量低減対策(しゃへい、線源の移動、低線量エリアの活用)を講じている。

※線量低減活動

- 予想総線量が20人・mSv以下の作業
 - ・作業前に提出される放射線管理計画書で線量低減対策等の計画を確認するとともに、追加または改善できる線量低減対策があれば協力企業に提案、指導助言を行う。
 - ・日々の線量実績を確認し、日計画線量に対する超過者の有無などを確認する。
 - ・作業後に提出される放射線管理報告書で線量低減対策等の実績を確認するとともに、次回作業や他号機作業への反映事項がある場合は、それらを展開する。
- 予想総線量が20人・mSvを超える作業
 - ・上記予想総線量が20人・mSv以下の作業における線量低減対策に加え以下を実施。
 - ・放射線管理計画書の事前検討会を協力企業と実施し、作業内容・作業手順・作業環境・日計画線量・線量低減対策等を詳細に確認する。
 - ・作業の進捗に応じて予想線量に対する実績を確認する。また、線量低減対策の実施状況を現場/パトロールで確認し、改善すべき内容があれば協議する。
- 個人線量目標による管理
 - ・年度の個人線量目標を設定し、特定の個人への線量の偏りに対して対策を検討、実施する。